

ドイツアート Bar Creators@Kamogawa

Creators@Kamogawa は、日本とドイツのクリエイターが、Bar 的なくつろいだ雰囲気の中でアートを語り合うイベントシリーズです。今回のテーマは、『表現者の変化と進化』。

主題や作風がころころ変わる表現者もいれば、まったく変わらない表現者もいます。本人は「一貫している」と主張していても、傍から見るとものすごく変化していることもあります。もちろんその逆もありますが、そもそも芸術家や芸術作品にとって「変わる」とはどういうことでしょうか？ そして、表現や内容の変化は、どんなことがきっかけとなって生じるのでしょうか？

9月～12月までヴィラ鴨川に滞在中のドイツの芸術家4人が、多彩な表現領域と奇想天外な作風で知られる美術家・会田誠氏と、京都を拠点に活躍する創作和菓子ユニット『日菓』の杉山早陽子氏をゲストに迎え、アートジャーナリスト小崎哲哉氏の司会のもと、それぞれの体験と実感をもとに、表現者にとって変化とは何かを考えます。

座談会の後は、館内のドイツカフェ「カフェ・ミュラー」にて、ドイツビールやおつまみを片手に、交流をお楽しみください。



フィリップ・ブスマン Philip Bußmann (ビデオアーティスト、舞台装置家)

1969年生まれ。シュトゥットガルトで舞台装置・衣裳を学んだ後、NYの前衛劇団「ウースター・グループ」等でビデオ&グラフィックデザイナーとして活動。以降、ドイツ内外の有名劇場をはじめ、ウィリアム・フォーサイスやサシャ・ヴァルツら振付家とのコラボなど、演劇・ダンスの舞台装置や舞台ビデオ製作で活躍する。シアターカンパニー「2+」主宰。京都滞在中は、芸者文化を例に伝統と現代の関係を考察する。
公式サイト www.philipbusmann.com



ライナー・コマース Rainer Komers (映画監督)

1944年生まれ。デュッセルドルフとエッセンで映画製作や写真を学んだ後、アラスカ、インド、日本、イエメン、ラトビア、モンタナなど世界各地で映画監督・作家として活動する。産業的・都会的美学を背景に人間と自然の相互依存関係を追究した映像作品を発表し、数々の賞を受賞。日本でもドキュメンタリー映画『神戸』(2006年)を撮影した。京都滞在中は、人に見捨てられた場所をテーマに短編映画を製作予定。
公式サイト <http://komersfilm.com>



アナヒタ・ラズミ Anahita Razmi (美術家)

1981年生まれ。ワイマールとシュトゥットガルトでメディアアートや美術を学んだ後、文化的アイデンティティや西洋・東洋のステレオタイプなどをテーマにした作品を創作し、ドバイ、ハノーバー、テヘランでの個展をはじめ、数多くのグループ展で展示。エムダッシュ賞などを受賞。京都滞在中は、日本のイラン移民や祇園祭の山鉾装飾など、イランと日本が混じりあう文化を調査し、写真またはオブジェを創作予定。
公式サイト www.anahitarazmi.de



ケヴィン・フェネマン Kevin Vennemann (作家)

1977年生まれ。ケルン、ウィーン、ベルリン等でドイツ文学、アメリカ文学、歴史を学んだ後、2009年以降、作家、翻訳家としてニューヨークを中心に活動。『イエーデネフの近く』『マラ・コゴイ』『サンセット大通り』など自著小説のほか、イタリア人理論家フランコ・ベラルディなどの作品を独訳し発表。文学と美術の境界などをテーマにしたセミナー講師も務める。京都滞在中は、現代日本の住宅建築とその社会的条件についてエッセイを執筆予定。



会田 誠 Makoto Aida (美術家)

1965年新潟県生まれ。1991年東京藝術大学大学院美術研究科修了。絵画、写真、映像、立体、パフォーマンス、インスタレーション、小説、漫画、エッセイなど表現領域は国内外多岐にわたる。近年の主な個展に「天才でごめんない」(森美術館、東京、2012-13年)、「考えない人」(フルターニョ公爵城、ナント、フランス、14年)、「ま、Still Alive ってこーゆーこと」(新潟県立近代美術館、15年11月3日まで)など。
ミヅマアートギャラリー <http://mizuma-art.co.jp/artist/0010>



杉山 早陽子 Sayoko Sugiyama (和菓子作家)

1983年三重県生まれ。和菓子作家。食べたら無くなる当たり前のことに着目、表現方法としての和菓子に可能性を感じ、京都の老舗和菓子店にて和菓子を学ぶ。鑑賞から食べるまでの行為を一つの作品として捉え、記憶に残る一瞬を食べて無くなる和菓子に込めて制作中。10年間、和菓子ユニット「日菓」メンバーとして活躍し、現在は杉山早陽子、「御菓子丸」としても活動。著書に「日菓のしごと 京の和菓子帖/青幻舎刊」がある。
公式サイト www.nikkakyoto.com



小崎 哲哉 Tetsuya Ozaki (司会、構成)

1955年東京生まれ。ウェブマガジン『REALTOKYO』『REALKYOTO』発行人兼編集長。CD-ROMブック『デジタル歌舞伎エンサイクロペディア』、写真集『百年の愚行』などを企画編集し、現代アート雑誌『ART iT』を創刊した。京都造形芸術大学大学院学術研究センター客員研究員、同大学院、愛知県立芸術大学講師。あいとりエンターレ 2013のパフォーミングアーツ統括プロデューサーを担当した。2014年冬、『続・百年の愚行』を刊行。

交通のご案内

京阪電車 出町柳駅より 南へ徒歩8分
京阪電車 神宮丸太町駅より 北へ徒歩6分



主催・お問い合わせ

Goethe-Institut Villa Kamogawa
京都市左京区吉田河原町 19-3
(川端通り荒神橋上る)
TEL: 075-761-2188 (内線 31#)
info@villa-kamogawa.goethe.org
www.goethe.de/villa-kamogawa

